



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場取引所 名

上場会社名 大成株式会社

コード番号 4649 URL <http://www.taisei-bm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 憲司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 森 勝美

TEL 052-251-6611

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,164	△3.9	61	642.2	80	110.1	39	22.5
23年3月期第1四半期	4,335	9.6	8	△62.6	38	△39.2	32	△35.2

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 29百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △45百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	7.85	—
23年3月期第1四半期	6.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	10,331	7,256	70.2
23年3月期	9,847	7,277	73.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 7,256百万円 23年3月期 7,277百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,205	△3.1	78	13.6	106	△7.9	53	△21.0	10.47
通期	16,475	△2.0	190	△13.1	250	△19.3	125	△14.0	24.70

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	5,369,671 株	23年3月期	5,369,671 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	333,960 株	23年3月期	333,960 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	5,035,711 株	23年3月期1Q	5,061,400 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前連結会計年度末直前の3月11日に発生した東日本大震災の影響により、製造業を中心とする国内企業の生産が大きく減少して景気は急激に落ち込むこととなりました。そして当四半期連結累計期間後半には被害を受けた生産工場が復旧するなど復興に向けて期待されたものの、原発問題による電力不足といった大きな問題もあり、景気の先行きはまだまだ不透明な状態のまま推移いたしました。

ビルメンテナンス業界におきましても、そのような厳しい経済状況のなか、既存物件におきましては、空室率の高止まり傾向や仕様の見直しによる減額要請など、依然厳しい状況で推移いたしました。

そのような経営環境のもと、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、ビルメンテナンス事業につきましては、前年度後半にいくつかの物件が解約となり、それらを主な要因として売上高は減収となりました。また利益面におきましては前四半期連結累計期間においては新規受託物件の作業安定化に至るまでのコストが多く発生していましたが、その後の原価削減の効果などにより、当四半期連結累計期間においては増益となりました。

またリニューアル工事事業につきましては、ビルメンテナンス事業における顧客及びその他広く営業活動を行い引き続き工事の受託に努めてまいりました。

そして不動産ソリューション事業におきましては、既存の指定管理者事業物件において随時売上の獲得のために、各種イベントを企画するなど施設利用者の増加に努めてまいりました。

結果、当第1四半期の連結業績は、売上高41億64百万円（前年同四半期比3.9%減）、営業利益61百万円（同642.2%増）、経常利益80百万円（同110.1%増）、四半期純利益39百万円（同22.5%増）となりました。

前年同四半期と比較して、売上高は減収となりましたが、営業利益、経常利益及び四半期純利益はともに増益となりました。

ビルメンテナンス事業

（クリーン業務）

クリーン業務につきましては、名古屋東急ホテル、名古屋市地下鉄駅地下街、名古屋市科学館、ダイヤモンドビル、SSJ品川クリスタルビル、新宿プリンスホテルなどの新たな物件が前年対比増収要因ではありましたが、一方大型施設他の解約物件もあり売上高は20億69百万円（同3.5%減）となりました。しかし、そのようななか原価削減に努めたことにより営業利益は3億円（同6.1%増）となりました。

（設備管理業務）

設備管理業務につきましては、SSJ品川クリスタルビルなどの新規物件のほか、既存物件においても設備更新工事などの随時売上の獲得したことにより、売上高は9億30百万円（同9.6%増）、営業利益は36百万円（同20.7%増）となりました。

（セキュリティ業務）

セキュリティ業務につきましては、ダイヤモンドビル、ブリヂストン東京工場などの新規物件のほか、既存物件においても随時売上の獲得したものの、前連結会計年度後半には大型施設の解約もあり、売上高は6億64百万円（同5.2%減）となりましたが、原価削減の効果もあり、営業利益は48百万円（同19.0%増）となりました。

従いまして、ビルメンテナンス部門の売上高は36億65百万円（同0.8%減）となりましたが、原価削減ならびに販売費及び一般管理費の削減により営業利益は3億85百万円（同8.9%増）となりました。

リニューアル工事事業

リニューアル工事事業につきましては当第1四半期連結累計期間において顧客ビルからの工事受注に努めたものの、まだ工事完了に至るものが少なく、売上高は3億35百万円（同30.0%減）となりましたが、原価削減効果により営業利益は31百万円（同5.5%増）となりました。

不動産ソリューション事業

不動産ソリューション事業につきましては、各施設において自主事業の企画により利用者の増加を図ることができ、売上高は1億63百万円（同2.0%増）、営業利益は5百万円（同301.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の財政状態につきましては、総資産103億31百万円（前連結会計年度末比4億84百万円増）、負債の部は30億75百万円（同5億5百万円増）となり、純資産の部は72億56百万円（同21百万円減）となりました。

資産の部の増加要因は、主には「現金及び預金」、「受取手形及び売掛金」、「建物」、「投資有価証券」などが増加したことによるものであります。「現金及び預金」の増加は、翌月に支給予定である賞与資金を短期借入金として調達したことによるものであります。また負債の部の増加要因は、主には「買掛金」、「短期借入金」、「賞与引当金」が増加したことによるものであります。「短期借入金」の増加は、翌月に支給予定である賞与資金を「短期借入金」として調達計上したことによるものであります。そして純資産の部の主な減少要因は、配当による「利益剰余金」の減少と「その他有価証券評価差額金」が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、第2四半期の業績予想に対する進捗率が、売上高は50.8%、営業利益は79.1%、経常利益は75.5%、四半期純利益は74.6%となっております。売上高はほぼ予算通りに推移しておりますが、営業利益、経常利益及び四半期純利益の進捗率が高いのは、主にはビルメンテナンス事業における労務費の圧縮と同時にリニューアル工事業ならびに不動産ソリューション事業の利益向上が寄与し、そして販売費及び一般管理費の削減努力によるものであります。第2四半期以降を通じては、随時売上などの獲得可能性にはまだ不確定要因が多いため、平成24年3月期の第2四半期及び通期の業績予想につきましては、平成23年5月13日公表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,673,551	1,783,094
受取手形及び売掛金	1,524,447	1,675,123
有価証券	68,850	88,560
商品及び製品	4,794	4,794
原材料及び貯蔵品	51,416	48,557
繰延税金資産	112,677	184,786
その他	92,196	44,066
貸倒引当金	△811	△829
流動資産合計	3,527,121	3,828,153
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,898,901	1,968,143
減価償却累計額	△1,287,947	△1,299,658
建物及び構築物（純額）	610,954	668,485
機械装置及び運搬具	450,944	453,535
減価償却累計額	△365,454	△371,527
機械装置及び運搬具（純額）	85,489	82,008
工具、器具及び備品	252,021	268,627
減価償却累計額	△205,239	△210,082
工具、器具及び備品（純額）	46,781	58,544
土地	1,170,438	1,170,438
リース資産	10,843	10,843
減価償却累計額	△6,506	△7,048
リース資産（純額）	4,337	3,795
有形固定資産合計	1,918,001	1,983,272
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,555,591	1,671,321
差入保証金	264,666	264,593
退職積立資産	882,879	901,217
保険積立資産	452,956	451,612
ゴルフ会員権	153,316	150,883
繰延税金資産	305,062	287,782
長期預金	700,000	700,000
その他	78,279	81,915
貸倒引当金	△27,440	△27,440
投資その他の資産合計	4,365,312	4,481,887
固定資産合計	6,320,095	6,503,129
資産合計	9,847,217	10,331,282

(単位：千円)

前連結会計年度
(平成23年3月31日)当第1四半期連結会計期間
(平成23年6月30日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	358,021	416,713
短期借入金	60,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	109,920	109,920
リース債務	2,168	2,168
未払費用	119,670	139,550
未払給与	745,012	739,253
未払法人税等	20,435	91,254
未払消費税等	112,807	132,575
賞与引当金	222,969	381,241
その他	90,871	91,349
流動負債合計	1,841,876	2,404,027
固定負債		
長期借入金	199,910	172,430
リース債務	2,168	1,626
長期預り保証金	34,697	34,884
退職給付引当金	282,890	263,956
役員退職慰労引当金	208,314	198,170
固定負債合計	727,981	671,068
負債合計	2,569,858	3,075,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	822,300	822,300
資本剰余金	878,137	878,137
利益剰余金	5,964,508	5,953,694
自己株式	△314,483	△314,483
株主資本合計	7,350,462	7,339,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△73,103	△83,461
その他の包括利益累計額合計	△73,103	△83,461
純資産合計	7,277,358	7,256,186
負債純資産合計	9,847,217	10,331,282

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	4,335,460	4,164,712
売上原価	3,811,220	3,607,106
売上総利益	524,240	557,606
販売費及び一般管理費		
役員報酬	38,355	36,843
給料	183,311	184,304
賞与引当金繰入額	41,335	34,138
役員退職慰労引当金繰入額	4,544	3,970
賃借料	49,727	50,010
減価償却費	14,020	15,324
保険料	28,202	25,510
その他	156,433	145,828
販売費及び一般管理費合計	515,930	495,930
営業利益	8,309	61,676
営業外収益		
受取利息	4,449	3,479
受取配当金	18,236	15,632
受取手数料	3,455	3,399
持分法による投資利益	1,854	1,890
投資有価証券受贈益	26,527	—
その他	193	274
営業外収益合計	54,717	24,675
営業外費用		
支払利息	1,653	1,785
有価証券運用損	21,620	1,250
支払手数料	1,682	1,682
雑損失	—	1,628
営業外費用合計	24,956	6,346
経常利益	38,070	80,005
特別利益		
投資有価証券売却益	23,372	1,184
ゴルフ会員権貸倒引当金戻入額	600	—
特別利益合計	23,972	1,184
特別損失		
固定資産除売却損	—	2
投資有価証券売却損	—	132
ゴルフ会員権評価損	—	2,433
特別損失合計	—	2,568
税金等調整前四半期純利益	62,043	78,621
法人税、住民税及び事業税	87,463	87,988
法人税等調整額	△57,701	△48,909
法人税等合計	29,761	39,078
少数株主損益調整前四半期純利益	32,281	39,542
四半期純利益	32,281	39,542

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	32,281	39,542
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77,289	△10,358
その他の包括利益合計	△77,289	△10,358
四半期包括利益	△45,008	29,184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△45,008	29,184

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューア ル工事業 務	不動産ソリ ューション 業務		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,144,675	849,771	700,485	479,911	160,616	—	4,335,460
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,144,675	849,771	700,485	479,911	160,616	—	4,335,460
セグメント利益	283,570	30,507	40,461	29,843	1,313	△377,387	8,309

(注) 1. セグメント利益の調整額△377,387千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューア ル工事業 務	不動産ソリ ューション 業務		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,069,833	930,926	664,400	335,794	163,757	—	4,164,712
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,069,833	930,926	664,400	335,794	163,757	—	4,164,712
セグメント利益	300,969	36,827	48,155	31,486	5,271	△361,035	61,676

(注) 1. セグメント利益の調整額△361,035千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。